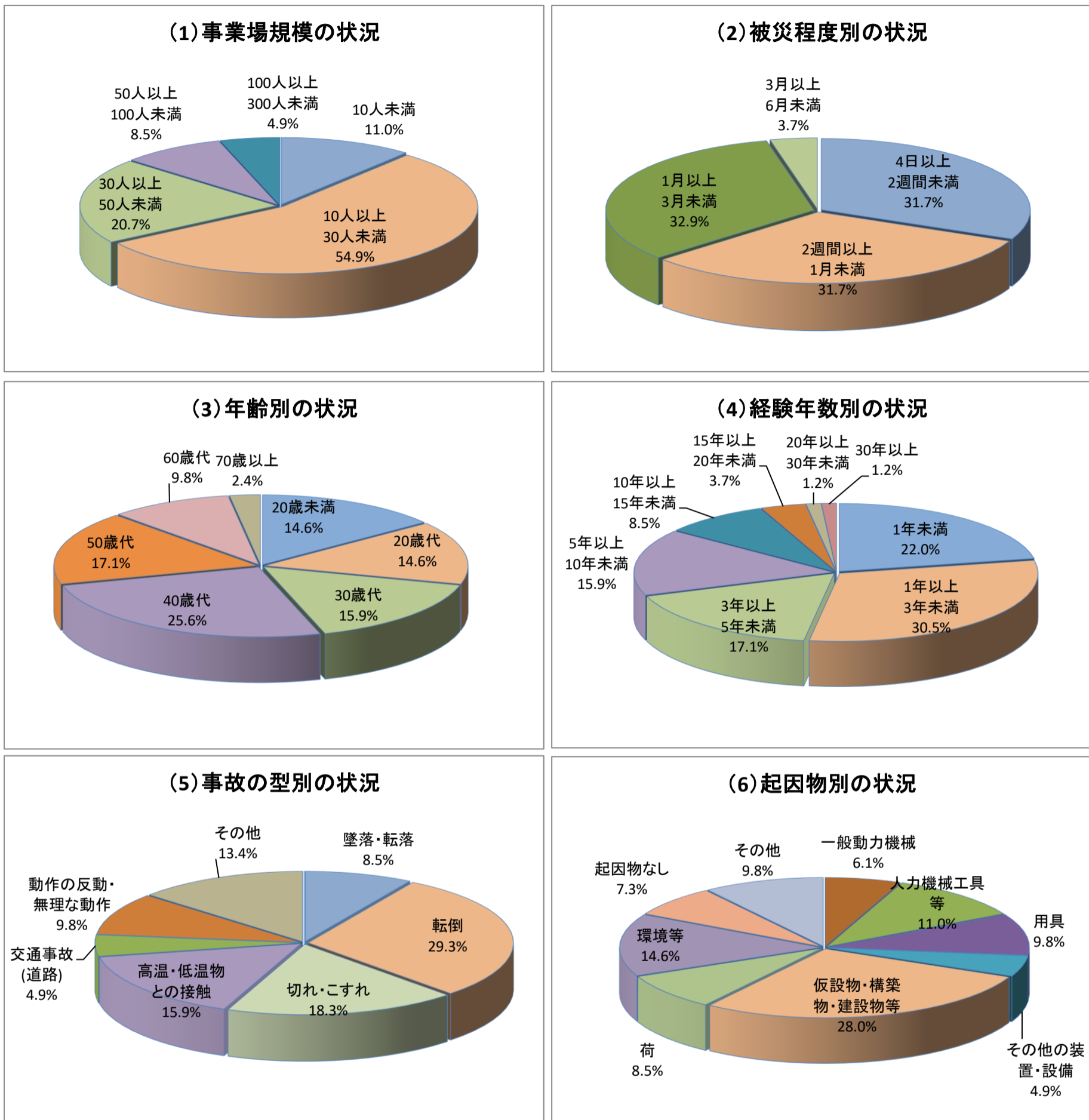


17-4.飲食店における労働災害発生状況(令和2年)

(飲食店：82人)



1. 事業場規模別では、「10人以上30人未満」が54.9%と最も多く、次いで「30人以上50人未満」が20.7%、「10人未満」11.0%の順となっている。50人未満の事業場が86.6%を占めている。
2. 被災程度別では、休業日数「1月以上3月未満」が32.9%と最も多く、次いで「4日以上2週間未満」「2週間以上1月未満」がそれぞれ31.7%の順となっている。
3. 年齢別では、「40歳代」が25.6%と最も多く、次いで「50歳代」が17.1%、「30歳代」が15.9%の順となっている。60歳以上が12.2%だが、30歳未満が29.2%を占めている。
4. 経験年数別では、「1年以上3年未満」が30.5%と最も多く、次いで「1年未満」が22.0%、「3年以上5年未満」17.1%の順となっている。3年未満が69.6%となっている。
5. 事故の型別では、「転倒」が29.3%と最も多く、次いで「切れ・こすれ」が18.3%、「高温・低温の物との接触」が15.9%の順となっている。
6. 起因物別では、「仮設物・構築物・建設物等」が28.0%と最も多く、次いで「環境等」が14.6%、「人力機械工具等」11.0%の順になっている。